

《基礎科目》

| | | | | | |
|--------------------------|---|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 英語 | | | | |
| 担当者氏名 | 西村 紀子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

《授業の概要》

基礎文法を学び、英文法の知識を再確認する。日常会話でよく使う「文型」を多く挙げ、英語の表現に親しんでいく。毎回語彙テストを行い、語彙や熟語を増やすことを心掛ける。

《教科書》

プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

期末試験のフィードバックは希望に応じて行います。

《授業の到達目標》

中学までに学んだ基礎的な文法や語彙を確認し、同時に日常会話に必要な表現も身につけ、総合的に学習を進める。英語力に必要な基本的文法構造を学び習得し、基礎的語学力を身につける。

《成績評価基準》

授業で学習した基礎的な文法を理解しているか。日常会話に必要な表現が身についているか。基本的文法構造を理解し、読む書く聞く話すの4技能につなげられているか。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート -%
課題 -% 実技 -%
授業の取組 35%
その他(提出物) 35%

《参考図書》

「英会話の基本文型 87」

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|----------------------|--|
| 1 | 英文構造について | 予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分) |
| 2 | 品詞について Be動詞 | 予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分) |
| 3 | 一般動詞 | 予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分) |
| 4 | 一般動詞とBe動詞の区別、応用練習 | 予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分) |
| 5 | 時制(現在、過去、現在・過去進行形) | 予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分) |
| 6 | 時制(現在、過去、現在・過去進行形)演習 | 予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分) |
| 7 | 文の種類(肯定文、否定文、疑問文) | 予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分) |
| 8 | 文の種類(肯定文、否定文、疑問文)演習 | 予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分) |
| 9 | 疑問詞を使う疑問文 | 予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分) |
| 10 | 疑問詞を使う疑問文演習 | 予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分) |
| 11 | 接続詞を使った英作文 | 予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分) |
| 12 | 接続詞を使った会話文 | 予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分) |
| 13 | 頻度の高い動詞句(希望、予定、強制) | 予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分) |
| 14 | 練習、前期学習内容の総復習 | 予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分) |
| 15 | 前期学習内容の理解確認 | 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分) |

《基礎科目》

| | | | | | |
|--------------------------|---|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | スポーツ理論と実践 | | | | |
| 担当者氏名 | 坂元 瑞貴 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

《授業の概要》

本授業では「健康スポーツ」「球技スポーツ」「ラケットスポーツ」「ニュースポーツ」等を行い、生涯を通してスポーツを楽しむための知識・技能を養う。

《教科書》

必要に応じて、資料を配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

ルールについての試験を随時行い、その都度解説を行う。

《授業の到達目標》

1. 日常生活における運動・スポーツの重要性を理解し、生涯を通してスポーツを楽しむことができる。
2. 実施するスポーツのルールを理解し、実践できる。
3. スポーツを通し、チームメイトや対戦相手とのコミュニケーションを取ることができる。

《成績評価基準》

実施するスポーツのルールを理解し、チームメイトや対戦相手とのコミュニケーションを取りながら、実践することができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 30%
実技 20%
授業の取組 50%

《参考図書》

観るまえに読む大修館スポーツルール(大修館書店編集部)

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|----------------------|--|
| 1 | オリエンテーション アイスブレイク | 怪我の予防のため、身体を動かしておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分) |
| 2 | 健康スポーツ | 「運動」「栄養」「休養」のバランスを整え、健康を保つ(30分) 今回の授業内容の復習(30分) |
| 3 | 健康スポーツ | 「運動」「栄養」「休養」のバランスを整え、健康を保つ(30分) 今回の授業内容の復習(30分) |
| 4 | 球技スポーツ | 「バレーボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分) |
| 5 | 球技スポーツ | 「バレーボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分) |
| 6 | 球技スポーツ | 「バスケットボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分) |
| 7 | 球技スポーツ | 「バスケットボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分) |
| 8 | ラケットスポーツ | 「バドミントン」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分) |
| 9 | ラケットスポーツ | 「バドミントン」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分) |
| 10 | ラケットスポーツ | 「卓球」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分) |
| 11 | ラケットスポーツ | 「卓球」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分) |
| 12 | ニュースポーツ | ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分) |
| 13 | ニュースポーツ | ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分) |
| 14 | ニュースポーツ | ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分) |
| 15 | ニュースポーツ | ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分) |

《基礎科目》

| | | | | | |
|--------------------------|--|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 生物学 | | | | |
| 担当者氏名 | 厚川 亮介 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必修 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。 | | | | |

《授業の概要》

生物学の基礎を中心にして、造園空間によく利用される植物や身近な植物の生命現象を説明します。また、自然環境についても様々な観点から解説いたします。したがって、日頃より緑地や公園などの緑地などの身近な自然、生物に興味を持ち、積極的に授業に参加して下さい。

《教科書》

必要に応じて資料を配布します。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

劇的に展開しつつある現在の生物学への入り口として、生物学の基礎的な知識の習得を目指します。さらに、私たちの生活を豊かにする植物への造詣を深めます。このことにより、植物の世界、生態系の役割が理解できるようになる。

《成績評価基準》

植物の世界、身近な植物の生態、生態系の役割の理解度(筆記試験)と授業への取組により評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 80 %
レポート %
課題 %
実技 %
授業の取組 20 % その他 () %

《参考図書》

生命科学のための基礎シリーズ「生物」実教出版

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|-------------|---|
| 1 | ガイダンス 植物の世界 | 予習：植物の世界・2時間 復習：今回学んだ授業内容を復習しておく・2時間 |
| 2 | 身近な植物の生態と利用 | 予習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 復習：植物の世界・2時間 |
| 3 | 身近な植物の生態と利用 | 予習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 復習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 |
| 4 | 身近な植物の生態と利用 | 予習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 復習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 |
| 5 | 身近な植物の生態と利用 | 予習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 復習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 |
| 6 | 身近な植物の生態と利用 | 予習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 復習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 |
| 7 | 身近な植物の生態と利用 | 予習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 復習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 |
| 8 | 身近な植物の生態と利用 | 予習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 復習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 |
| 9 | 身近な植物の生態と利用 | 予習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 復習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 |
| 10 | 身近な植物の生態と利用 | 予習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 復習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 |
| 11 | 身近な植物の生態と利用 | 予習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 復習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 |
| 12 | 身近な植物の生態と利用 | 予習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 復習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 |
| 13 | 身近な植物の生態と利用 | 予習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 復習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 |
| 14 | 生態系とその均衡 | 予習：生態系とその均衡・2時間 復習：身近な植物の生態と利用 ・2時間 |
| 15 | まとめ | 予習：今までの授業内容をまとめの前に予習する・2時間 復習：生態系とその均衡・2時間 |

《基礎科目》

| | | | | | |
|--------------------------|---|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | キャリアデザイン | | | | |
| 担当者氏名 | 永島 知子、厚川 亮介、西川 真水、久保田 家且、宮島 淳二、高宮 さやか、山本 俊光 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必修 | 1単位・必修 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

《授業の概要》

短大での2年間は学生から社会人への移行期間です。本科目では、みなさんのキャリア(職歴)だけでなく、人生設計(ライフデザイン)も視野に入れ、どのように働き、どんな生活を送っていくのかを考えます。職業についてや今後の人生設計を考えるために、多くの先輩や社会人の方の話を聞き、自分の将来を考え、就職活動に臨み、卒業後に充実した人生を送ることができるキャリアデザインを行う科目です。

《授業の到達目標》

- ・新しい生活環境に適応し、変化に対する円滑な対応と、豊かな人間性、高い倫理観を養うことができる。
- ・社会に貢献できる職種としての自覚を持つことができる。
- ・自己を知り、他者の気持ちを感じ取り、人間理解を深め、造園・土木・建築・園芸・環境保全で働く者としての考え方や心構えを持つようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート 20%
 課題 40% 実技 0%
 授業の取組 60%
 その他 () %

《教科書》

プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講評や開設の時間を設ける。
 課題(実習のまとめのポートフォリオ)の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

主に授業の取り組みと課題提出によるが、授業の取組(参加姿勢)60%、課題提出40%で評価する。

《参考図書》

学生のためのキャリアデザイン入門(中央経済社)

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|-------------------------|--|
| 1 | 自己紹介、クラス代表選出、科目について | シラバスに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間) |
| 2 | ポートフォリオ1:ポートフォリオと学習歴 | 配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間) |
| 3 | ノートの取り方・レポートの書き方 | 配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間) |
| 4 | ポートフォリオ2:写真の撮り方と活用 | 配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間) |
| 5 | ポートフォリオ3:自分の特徴・経験の整理 | 配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間) |
| 6 | 職能ガイダンス1:職域と取り扱う空間・環境 | 配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間) |
| 7 | 職能ガイダンス2:職能と企業研究 | 配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間) |
| 8 | 職能ガイダンス3:社会人から学ぶ/社会の話題 | 配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間) |
| 9 | ポートフォリオ4:実習のまとめ1 | 配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間) |
| 10 | 職能ガイダンス5:資格ガイダンス | 配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間) |
| 11 | ポートフォリオ5:実習のまとめ2 | 配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間) |
| 12 | 進路ガイダンス:就職模擬試験 | 配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間) |
| 13 | ライフデザイン:キャリアデザイン(コース選択) | 配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間) |
| 14 | ポートフォリオ6:実習のまとめ3 | 配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間) |
| 15 | ポートフォリオ7:自分の学習履歴をまとめる | 配布したプリントに目を通すこと(1時間) 授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(1時間) |

《専門科目》

| | | | | | |
|--------------------------|--|-------|--------|----------|-----------|
| 科目名 | 総合実習 | | | | |
| 担当者氏名 | 高宮 さやか、小才 寛康、厚川 亮介、山本 俊光 | | | | |
| 授業方法 | 実習 | 単位・必修 | 2単位・必修 | 開講年次・開講期 | 1年・通年（前期） |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。 1-DP4 伝統的で高度な「作庭技術」や「快適な生活環境を創造できる技術」を習得していること。 | | | | |

《授業の概要》

少人数の班編成により、下記の授業計画に基づいて実施する。前期終盤では造園技能士2、3級の検定課題に取り組み（未経験者は3級から）。2級取得済みの学生には別途プログラムを準備する。（資格の種類によっては材料費が発生することもある）

《教科書》

労働省職業能力開発局技能振興課監修・全国造園技能検定推進委員会発行『造園施工必携』
各授業の配布プリント

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポートを添削し2週間以内に返却する。

《授業の到達目標》

緑化植物の植栽や育成・管理、また造園の骨格をなす石組、各種庭・公園の修景施設工等の実体験を通して、造園技能の基礎を体得すること。専門講義科目で得た知識をフィードバックして実習することにより、理論と実技を関連付け、より実践的な理解を促す事を目標とする。

《成績評価基準》

受講態度と技術習得の度合いとレポートの作成と提出を総合的に評価する。

《成績評価の方法》

レポート 30%
実技 20%
授業の取組 50%

《参考図書》

上原敬二『樹木ガイドブック』朝倉書店中野正生『ガーデンデザイン入門』

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|-------------------------|---|
| 1 | オリエンテーション | 予習：各人の地元にある庭園や公園について調べておく(2時間) 復習：安全管理に関する内容を復習する(2時間) |
| 2 | 学外実習(国営海の中道 海浜公園他見学) | 予習：見学予定地の公園について下調べをしておく(2時間) 復習：見学した内容のレポート作成(2時間) |
| 3 | 生物調査 | 予習：生物の分類体系を学習しておく(2時間) 復習：授業で学んだ内容のレポート作成(2時間) |
| 4 | ハンギングバスケット | 予習：使用する花苗の科名や原産地等の基礎情報を調査(2時間) 復習：使用した花苗の特徴をまとめる(2時間) |
| 5 | 玉掛・クレーン | 予習：機械施工について調べておく(2時間) 復習：授業で学んだ内容のレポート作成(2時間) |
| 6 | 剪定・刈込 | 予習：身近な樹木の枝の付き方・樹形を観察しておく(2時間) 復習：授業で学んだ内容のレポート作成(2時間) |
| 7 | 剪定・刈込 | 予習：身近な樹木の枝の付き方・樹形を観察しておく(2時間) 復習：授業で学んだ内容のレポート作成(2時間) |
| 8 | 増殖工 | 予習：園芸店で売られているポット苗を観察しておく(2時間) 復習：授業で学んだ内容のレポート作成(2時間) |
| 9 | 草花園芸 | 予習：使用する花苗の科名や原産地等の基礎情報を調査(2時間) 復習：使用した花苗の特徴をまとめる(2時間) |
| 10 | 間伐・林内管理 | 予習：植林に使われる樹種を調べておく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間) |
| 11 | 技能検定(ガイダンス・ 竹垣) | 予習：実習場内の竹垣や園路を観察しておく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間) |
| 12 | 技能検定(縁石) | 予習：課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間) |
| 13 | 技能検定(敷石) | 予習：課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間) |
| 14 | 技能検定(整地) | 予習：課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間) |
| 15 | 技能検定(全工程) | 予習：最も苦手な工種を把握し、練習する(2時間) 復習：授業で学んだ内容のレポート作成(2時間) |

《専門科目》

| | | | | | |
|--------------------------|--|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 造園史 | | | | |
| 担当者氏名 | 西川 真水 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必修 | 2単位・必修 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。 | | | | |

《授業の概要》

造園・ランドスケープの歴史を近代以前の庭園の時代とそれ以降の都市の時代に分け、前半は日本の庭園の歴史とヨーロッパを中心とする庭園の歴史について講義し、後半は都市空間における近代以降の造園の歴史として都市公園の成立や田園都市・郊外など緑地計画の歴史について講義する。

《教科書》

プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出されたノートは、問題点や評価点などを記載し返却する。

《授業の到達目標》

造園・ランドスケープに関する歴史観を形成するための基礎知識を学び、造園・ランドスケープの様々な技術や空間のポキャブラリーを習得するため以下の到達目標を設定する。

日本及び西洋の庭園の歴史様式、ポキャブラリー、その流れについて説明できる。近代以降の公園、都市における造園・ランドスケープの歴史的な流れと特徴について説明できる。各時代の造園空間の成立背景について説明できる。

《成績評価基準》

それぞれ到達目標に対しての配分として 30% 30% 40%を目安とする。
毎回講義で配布する講義ノートを最終講義終了後提出し評価する。ノートは講義中の記録、キーワード、講義中わからなかった言葉や事項について調べてあるか、レイアウト・記録方法を評価する。

《成績評価の方法》

| | | | |
|-------|------|---------|------|
| 筆記試験 | 70 % | レポート | 30 % |
| 課題 | % | 実技 | % |
| 授業の取組 | 30 % | その他 () | % |

《参考図書》

「日本の庭園」進士五十八 / 中公新書
都市緑地の計画と設計 / 内山正雄 / 彰国社

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|-----------------------|---|
| 1 | 造園の語源とランドスケープの語源 | 予習：日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習：講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間) |
| 2 | 奈良・平安・鎌倉時代の庭園 | 予習：日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習：講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間) |
| 3 | 室町時代・安土桃山時代の庭園 | 予習：日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習：講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間) |
| 4 | 室町時代・安土桃山時代の庭園 | 予習：日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習：講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間) |
| 5 | 江戸時代の庭園 | 予習：日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習：講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間) |
| 6 | ヨーロッパ・古代の造園と都市空間 | 予習：日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習：講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間) |
| 7 | 中世の庭園、スペインの庭園 | 予習：日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習：講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間) |
| 8 | イタリアルネサンス期の庭園とフランス式庭園 | 予習：日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習：講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間) |
| 9 | イギリス風景式庭園の形成と変化 | 予習：日本の歴史を中学・高校の教科書で概観しておく(2時間) 復習：講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間) |
| 10 | 都市公園の形成(欧米) | 予習：前回の講義ノートの確認(2時間) 復習：講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間) |
| 11 | 都市公園の形成(欧米)と田園都市 | 予習：前回の講義ノートの確認(2時間) 復習：講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間) |
| 12 | 日本における都市公園の形成 | 予習：前回の講義ノートの確認(2時間) 復習：講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間) |
| 13 | 現代の造園 | 予習：前回の講義ノートの確認と、福岡市内の都市公園を訪れておく(2時間) 復習：講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間) |
| 14 | 現代の造園 | 予習：前回の講義ノートの確認と、福岡市内の都市公園を訪れておく(2時間) 復習：講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間) |
| 15 | まとめ | 予習：今までの講義ノートを整理し、ファイリングしておく(2時間) 復習：講義ノートの整理と、わからない用語などを調べておく(2時間) |

《専門科目》

| | | | | | |
|--------------------------|--|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 造園樹木学 | | | | |
| 担当者氏名 | 宮島 淳二 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必修 | 2単位・必修 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 1-DP4 伝統的で高度な「作庭技術」や「快適な生活環境を創造できる技術」を習得していること。 | | | | |

《授業の概要》

1. 植物及び樹木の分類と命名 2. 植物と衣食住・産業・風景・文化・Q.L.・セラピー・歳時記等との関連 3. 樹木の形態・生理・管理の基本 4. 造園樹木材料の生産と流通 5. 押し葉標本の作り方 6. 樹木検索の方法 7. 造園植栽の意義と要件 8. 代表的な花木・庭木・公園樹・街路樹

《教科書》

「樹木ガイドブック」上原敬二、朝倉書店 「葉で見わかる樹木 増補改訂版」林将之、小学館 「くらしを楽しむ庭木の本」講談社 「くらべてわかる葉っぱ」林将之、山と溪谷社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題はコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

1. 造園樹木材料について豊かに精通し、造園家として使いこなせるようになること。
2. 「植物(樹木)と人間」のよりよい関係について常に考え、その橋渡し役として、社会的ニーズ+ヒューマンニーズに、よりの確な植栽計画(緑地生活と自然環境保全)により応えられるようになること。 3. 自分自身で樹木検索ができるようになること。

《成績評価基準》

(到達目標1、2、3共通)

- ・90~100 極めて達成
- ・80~89 かなり達成
- ・70~79 普通に達成
- ・60~69 まあ達成
- ・59以下 達成できていない

《成績評価の方法》

筆記試験 40%
レポート 10%
課題 20%
その他(実物試験) 30%

《参考図書》

「グリーンセイバー 植物と自然の基礎を学ぶ」岩槻邦男監修、研成社 「日本の樹木」林弥栄監修、山と溪谷社 「ランドスケーププランツ」浅野二郎ら監修、ワールド出版

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|-----------------------|---|
| 1 | 造園材料・植物及び樹木の諸分類と造園の分類 | 予習：あらかじめ予告のテキスト指定ページで予習/2時間 復習：指定様式・用紙の「授業日報」等/2時間 |
| 2 | 形態、命名、生理と環境耐性・管理 | 復習： " |
| 3 | 造園樹木の生産・流通・規格、造園植物の要件 | 復習： " |
| 4 | 造園樹木の増殖と生産の実際 | 復習： " |
| 5 | 押し葉の制作法、葉面水彩プリント法 | 復習： " |
| 6 | 木竹工芸体験(園芸福祉・環境福祉) | 復習： " |
| 7 | 主要な庭園樹・公園樹・街路樹(1) | 復習： " |
| 8 | " (2) | 復習： " |
| 9 | " (3) | 復習： " |
| 10 | 樹木検索/広葉樹(1) | 復習： " |
| 11 | " / " (2) | 復習： " |
| 12 | " / " (3) | 復習： " |
| 13 | " / 針葉樹(1) | 復習： " |
| 14 | " / " (2) | 復習： " |
| 15 | 樹木実物鑑定試験 | 復習： " |

《専門科目》

| | | | | | |
|--------------------------|-----------------------------------|-------|--------|----------|-----------|
| 科目名 | 環境設計演習 | | | | |
| 担当者氏名 | 西川 真水 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 4単位・必修 | 開講年次・開講期 | 1年・通年（前期） |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。 | | | | |

《授業の概要》

緑地環境で取り扱う対象空間・環境は多岐にわたり、その敷地のスケールや規模によってさまざまな視点から空間と向き合うことが求められる。本演習では、単に設計のテクニックにとどまることのみでなく、緑地環境空間におけるデザイン行為にかかわる基礎的な考え方、手法、実際の空間をどのようにあつかうのかという作法を学ぶ。

《教科書》

プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義内、学びの発表会において講評の時間を設ける。

《授業の到達目標》

ランドスケープ・造園・緑化などに関係する図面を理解できる。平面図や立面図など造園・ランドスケープにかかわる図面を描ける。様々なスケール・尺度を理解し、身体化する。複数名で協働し様々なアイデアを共有・発想し、そのためのコミュニケーションが取れる。様々な空間の読み取り、敷地条件の読み取りができる。

《成績評価基準》

前期の評価は、課題成果品85%、演習態度15%の構成とする。到達目標 ~ までに対しても特にそれぞれの提出課題の精度、レイアウト、仕上がり具合の観点から判断し評価する。

《成績評価の方法》

課題 85%
授業の取組 15%

《参考図書》

造園図面の表現と描法
造園図面の表現と描法 / 野沢清・小坂橋二
三男 / 誠文堂新光社

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|--------------------------|---|
| 1 | 緑地環境にかかわる図面：平面図のカーリング | 予習：色鉛筆を使って絵を描いてみる 復習：色鉛筆を使って絵を描いてみる |
| 2 | 植物のかたち：高木の樹形の模型製作 | 予習：福浜キャンパスにある樹木の名前と形を調べておく 復習：作成した樹木のモデルになった樹木の絵を描いてみる |
| 3 | みどりウォッチング：地域の緑環境の調査 | 予習：自分の地元でどんな公園や神社があるか実際に自分で歩いてみておく 復習：調査メモと写真の整理 |
| 4 | みどりウォッチング：地域の緑環境の調査 | 予習：自分の地元でどんな公園や神社があるか実際に自分で歩いてみておく 復習：調査メモと写真の整理 |
| 5 | みどりウォッチング：地域の緑環境の調査 | 予習：調査メモと写真の整理 復習：自分の地元でどんな公園や神社があるか実際に自分で歩いてみておく |
| 6 | ワークショップの方法：ブレインストーミング | 予習：ファシリテーションについて予習しておく 復習：ブレインストーミングで出たアイデアを整理しておく |
| 7 | ワークショップの方法：ブレインストーミング | 予習：ファシリテーションについて予習しておく 復習：周りの人と、任意のテーマでブレインストーミングしてみる |
| 8 | 緑地環境にかかわるスケールの考え方：空間の大きさ | 予習：自分の一步の幅を調べておく 復習：身の回りにあるものを自分の身体を使って測ってみる |
| 9 | 植栽の密度・間隔・感じ方 | 予習：大濠公園、西公園など近隣の公園を歩き、高木の植栽の写真を撮っておく 復習：メモや写真を整理しておく |
| 10 | 植栽の密度・間隔・感じ方 | 予習：大濠公園、西公園など近隣の公園を歩き、高木の植栽の写真を撮っておく 復習：メモや写真を整理しておく |
| 11 | 植栽の密度・間隔・感じ方 | 予習：大濠公園、西公園など近隣の公園を歩き、高木の植栽の写真を撮っておく 復習：メモや写真を整理しておく |
| 12 | 地形の見方：地形と等高線 | 予習：三角スケールの見方使い方を理解しておく 復習：配布された資料の等高線をなぞってみる |
| 13 | 地形の見方：地形模型 | 予習：線の引き方を練習しておく 復習：配布された資料の等高線をなぞってみる |
| 14 | 地形の見方：レベルの取扱いと階段 | 予習：周囲の階段について写真を取り調べておく 復習：配布された資料の計算問題を行っておく |
| 15 | 地形の見方：レベルの取扱いと階段 | 予習：スロープや傾斜について配布資料を読み理解しておく 復習：配布された階段の練習問題を行っておく |

《専門科目》

| | | | | | |
|--------------------------|--|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 製図演習 | | | | |
| 担当者氏名 | 西川 真水、永島 知子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 2単位・必修 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。 1-DP4 伝統的で高度な「作庭技術」や「快適な生活環境を創造できる技術」を習得していること。 | | | | |

《授業の概要》

造園・ランドスケープに関わる設計作図技術の基本を学ぶ。線の引き方から、平面図、立面図、パースの作図方法と表現方法を実際の空間の見学や実測も入れながら、計画設計と実際の空間との関係も学ぶ。最低限必要な基本的な表現方法を習得し、環境設計演習、や様々な空間制作へステップアップする。製図の技術は日常的な練習が必要である。日頃からスケッチをしたり線を引く練習をすること。

《授業の到達目標》

造園・ランドスケープに関わる設計の基本を習得する。
造園・ランドスケープ・関係分野の設計図書を理解できる。
～を製図演習の入門とし、前半は「建築・環境の概念」、「建築・環境計画・設計の基本とアプローチ」後半に「建築景観とフィールド・リテラシー」を行い、この3つの内容を理解すると共に、教員および学生同士のコミュニケーションを通じ、製図演習に対するモチベーションを高める。

《成績評価の方法》

課題 80%
授業の取組 20%

《教科書》

「やさしい造園図面の描き方」編集 建築資料研究社 / 建築資料研究社 「図説 日本の植生」講談社学術文庫 / 岩瀬徹 沼田真 プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

2回目以降は前の回に課した課題の講評や振り返りなどを行う。

《成績評価基準》

主に課題提出と授業の取組によるが、課題提出80%、授業の取組(参加姿勢)20%、で評価する。

《参考図書》

造園施工管理技術編 / 日本公園緑地協会 造園作品集 / 日本造園学会 造園植栽術彰国社 / 山本紀久

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|----------------------|--|
| 1 | 本演習の概要説明 | 予習：シラバスに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 2 | 設計の留意事項 | 予習：配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 3 | 対象地の実測 (公園設計) | 予習：配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 4 | 対象地の実測 (公園設計) | 予習：配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 5 | 作図 | 予習：配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 6 | 作図 | 予習：配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 7 | 計画 | 予習：配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 8 | 計画 | 予習：配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 9 | 設計・製図 | 予習：配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 10 | 設計・製図 | 予習：配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 11 | 設計・製図 | 予習：配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 12 | 設計・製図 | 予習：配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 13 | 測量から設計製図したものを現地に設定する | 予習：配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 14 | 測量から設計製図したものを現地に設定する | 予習：配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 15 | まとめ・最終課題の提出 | 予習：配布したプリントに目を通し、教科書で関連項目を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |

《専門科目》

| | | | | | |
|--------------------------|--|-------|--------|----------|-----------|
| 科目名 | コンピュータ実習 | | | | |
| 担当者氏名 | 松本 静香、永島 知子、厚川 亮介 | | | | |
| 授業方法 | 実習 | 単位・必選 | 2単位・必修 | 開講年次・開講期 | 1年・通年（前期） |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。 | | | | |

《授業の概要》

パーソナルコンピュータを使ったプレゼンテーションの基礎を学ぶ。社会ではパソコンを操ることは特別なことではなく、最低限必要な技術となっている。この科目では、パソコンの使い方やプレゼンテーションの技術を、ポートフォリオの作成と設計演習等のプレゼンテーションを通じて学んでいく。

《教科書》

プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

2回目以降は前の回に課した課題の講評や振り返りなどを行う。

《授業の到達目標》

コンピュータの使い方をマスターしポートフォリオを完成することができるようになる。

《成績評価基準》

主に課題提出と授業の取組によるが、課題提出70%、授業の取組（参加姿勢）30%で評価する。

《成績評価の方法》

課題 70%
授業の取組 30%

《参考図書》

情報活用力（noa 出版）

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|-----------------------|---|
| 1 | ガイダンス(ログイン・ファイルの保存など) | 予習：シラバスに目を通すこと(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 2 | illustrator | 予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 3 | illustrator | 予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 4 | illustrator | 予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 5 | Photoshop | 予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 6 | Photoshop | 予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 7 | Photoshop | 予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 8 | 地理情報 | 予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 9 | 地理情報 | 予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 10 | CAD 現況平面図入力 | 予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 11 | CAD 計画平面図入力 | 予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 12 | CAD 標準図作成 | 予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 13 | 設計図書 | 予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 14 | 3次元へのアプローチ | 予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |
| 15 | 3次元へのアプローチ | 予習：配布したプリントに目を通し、熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容を各自整理しておくこと(2時間) |

《専門科目》

| | | | | | |
|--------------------------|-----------------------------------|-------|--------|----------|-----------|
| 科目名 | 測量学 | | | | |
| 担当者氏名 | 田上 博 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 4単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・通年（前期） |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。 | | | | |

《授業の概要》

測量とは、地表・地中・空中など人間の生活領域における所定の位置関係の情報を、要求される精度を考慮しながら処理し、数値や図（地図や図面）で表現することです。測量学は、造園・林業技術者にとっても国土開発・保全・利用の計画・設計・施工に欠くことが出来ない重要な学問です。関数電卓は必ず必要です。

《教科書》

堤 隆著「測量学」（コロナ社）
プリントを配布します

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

造園・ガーデンデザイン・自然環境の仕事につく際に必要となる平板測量や水準測量や角測量など、最低限の知識を身につけることを目標にします。

《成績評価基準》

前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は試験70%、課題30%とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 70%
課題 30%

《参考図書》

吉澤 孝和著「図解 測量学要論」
（日本測量協会）

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|-------------------|--|
| 1 | 測量学の基礎知識 | 予習：測量学概説について熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 2 | 測量学の基礎知識 | 予習：事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 3 | 測量学の基礎知識 | 予習：事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 4 | 測量における誤差の取り扱いについて | 予習：誤差論について熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 5 | 距離測量について | 予習：距離測量について熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 6 | 距離測量における誤差の取り扱い | 予習：誤差の取り扱いについて熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 7 | 距離測量における誤差の取り扱い | 予習：光波測距儀を使った距離測量と誤差について熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 8 | 平板測量について | 予習：平板測量の器具、電子平板システムについて熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 9 | 平板測量について | 予習：平板測量の方法について熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 10 | 平板測量について | 予習：誤差の取り扱いについて熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 11 | 水準測量について | 予習：水準測量の用語・分類・使用器械器具等について熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 12 | 水準測量について | 予習：水準測量の観測方法について熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 13 | 水準測量について | 予習：水準測量の観測誤差と消去方法について熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 14 | 水準測量について | 予習：水準測量の誤差調整について熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 15 | まとめ | 予習：事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間) 復習：授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |

《専門科目》

| | | | | | |
|--------------------------|---|-------|--------|----------|-----------|
| 科目名 | 測量実習 | | | | |
| 担当者氏名 | 田上 博、厚川 亮介 | | | | |
| 授業方法 | 実習 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・通年（前期） |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP4 伝統的で高度な「作庭技術」や「快適な生活環境を創造できる技術」を習得していること。 | | | | |

《授業の概要》

測量学で学んだことを実際に行うことで、より深く理解するための実習です。測量の手順や器械の操作方法はもちろんのこと、観測したデータの処理方法を含め、実践的な実習を二丈キャンパスで行います。前期の最後には、環境設計演習で設計する実習用地の測量を行い、総合実習で、設計したものを施工する。関数電卓が必ず必要です。

《授業の到達目標》

測量機器を使って測量ができるようになること。平板、オートレベル、セオドライトの操作をマスターする。

《成績評価の方法》

筆記試験 40%
課題 30%
授業の取組 30%

《教科書》

細川 吉晴他著「よくわかる測量実習」（コロナ社）
プリントを配布します

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

日報・課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

前期、後期とも筆記試験を実施する。評価の配分は実習の取組30%、日報及び課題の評価30%、試験40%とする。

《参考図書》

吉澤 孝和著「図解 測量学要論」
（日本測量協会）

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|---------------------|---|
| 1 | オリエンテーション 計算基礎 | 予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 |
| 2 | 測量計算について（電卓の使い方を含む） | 予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 |
| 3 | 距離測量 | 予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 |
| 4 | 平板測量（平板とアリダードの取り扱い） | 予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 |
| 5 | 平板測量 | 予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 |
| 6 | 平板測量 | 予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 |
| 7 | 平板測量 | 予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 |
| 8 | 水準測量（レベルの取り扱い） | 予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 |
| 9 | 水準測量 | 予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 |
| 10 | 水準測量 | 予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 |
| 11 | 水準測量 | 予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 |
| 12 | 実習用地の平板測量 | 予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 |
| 13 | 実習用地の平板測量 | 予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 |
| 14 | 実習用地の平板測量 | 予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 |
| 15 | まとめ | 予習：実習内容に対し1時間程度の予習が必要 復習：実習内容に対し1時間程度の整理・復習が必要 |

《専門科目》

| | | | | | |
|--------------------------|-----------------------------------|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 緑地計画学 | | | | |
| 担当者氏名 | 久保田 家且 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。 | | | | |

《授業の概要》

1. 本講義では、地球規模ではなく地域の良好な都市環境の形成を図り、健康で文化的な都市生活の確保に寄与する緑地の計画を論じる。
2. 人口減少や少子高齢化社会に対応する緑地の将来展望についても論じる。

《教科書》

プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポート等は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

1. 公園の原型から我が国の緑地の整備までの変遷を学び理解する。
 2. 緑地の意義及び制度等を理解するとともに、各種緑地の計画と確保手法等を学び理解する。
 3. ヒートアイランド現象の緩和やグリーンインフラの問題等都市の環境問題への対応もできる知識を習得する。
- 以上のことを目標とする。

《成績評価基準》

筆記試験、レポート及び受講態度で評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 60%
レポート 30%
授業の取組 10%

《参考図書》

「都市緑地の計画と設計」内山正雄 (株)彰国社、「都市緑地の創造」平田富士夫 (株)朝倉書店

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|--------------------------|---|
| 1 | ガイダンス | 予習：都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間) |
| 2 | 緑地の変遷 | 予習：都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間) |
| 3 | 緑地の変遷 | 予習：都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間) |
| 4 | 緑地の定義と機能・効果 | 予習：都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間) |
| 5 | 緑地の定義と機能・効果 | 予習：都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間) |
| 6 | 緑地制度 (規制) | 予習：都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間) |
| 7 | 緑地制度 (規制) | 予習：都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間) |
| 8 | 緑地制度 (事業) | 予習：都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間) |
| 9 | 緑地制度 (事業) 続き | 予習：都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間) |
| 10 | 緑地制度 (事業) | 予習：都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間) |
| 11 | 緑地制度 (事業) 続き | 予習：都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間) |
| 12 | 緑地制度 (誘導・啓発) 緑化啓発の実際 | 予習：都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間) |
| 13 | 緑地の現状(現地見学 or 学外講師による講義) | 予習：都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間) |
| 14 | 緑地の将来展望 | 予習：都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間) |
| 15 | まとめ | 予習：都市の緑地空間に関する書籍等により予習しておくこと(2時間) 復習：今回の授業で学んだ内容を復習すること(2時間) |

《専門科目》

| | | | | | |
|--------------------------|---|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 植物医科学 | | | | |
| 担当者氏名 | 清水 進、宮島 淳二、高宮 さやか | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

《授業の概要》

種々の植物病を診断し、治療・防除・予防するシステムを対象とした学問分野が「植物医科学」である。したがって、従来の伝統的な技法に加え、AIや分子生物学的手法を導入しつつ、臨床を重視した授業を展開する。

《教科書》

「植物医科学」難波成任 養賢堂

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。

《授業の到達目標》

植物の病気の診断は従来、目視や顕微鏡診断などが行われてきた。しかし、現在ではAI診断あるいは遺伝子診断なども植物の病害虫の分野でも普及しつつある。そこで、これらの植物の病害虫の診断技術の基本と応用を習得させ、効果的な防除法に繋げる。

《成績評価基準》

植物の病害虫の診断技術および各種防除手法の理解度(筆記試験)、レポートの内容および授業への取組により評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート 20%
 課題 % 実技 %
 授業の取組 20%
 その他 () %

《参考図書》

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|----------------|--|
| 1 | 植物医科学の概要 | シラバスに目を通すこと(2時間)・授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間) |
| 2 | AI診断(病害) | 病害のAI診断の現状と問題点(2時間)・授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間) |
| 3 | AI診断(虫害) | 虫害のAI診断の現状と問題点(2時間)・授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間) |
| 4 | AI診断(雑草害) | 雑草害のAI診断の現状と問題点(2時間)・授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間) |
| 5 | 遺伝子診断(病害) | 病害の遺伝子診断の現状(2時間)・授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間) |
| 6 | 遺伝子診断(虫害) | 虫害の遺伝子診断の現状(2時間)・授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間) |
| 7 | 遺伝子診断(農薬耐性病害虫) | 農薬耐性病害虫の遺伝子診断(2時間)・授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間) |
| 8 | 総合的有害生物管理(IPM) | 総合的有害生物管理(IPM)(2時間)・授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間) |
| 9 | 耕種・物理的防除(病害) | 病害の耕種・物理的防(2時間)・授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間) |
| 10 | 耕種・物理的防除(虫害) | 虫害の耕種・物理的防(2時間)・授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間) |
| 11 | 化物的防除(病害) | 病害の化物的防除(2時間)・授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間) |
| 12 | 化物的防除(虫害) | 虫害の化物的防除(2時間)・授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間) |
| 13 | 生物的防除(病害) | 病害の生物的防除(2時間)・授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間) |
| 14 | 生物的防除(虫害) | 虫害の生物的防除(2時間)・授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間) |
| 15 | まとめ | 配布プリントの整理と質問事項の摘出(2時間)・授業で学んだ内容の理解度を深める(2時間) |

《専門科目》

| | | | | | |
|--------------------------|--|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 緑地管理実習 | | | | |
| 担当者氏名 | 高宮 さやか、小才 寛康、厚川 亮介、山本 俊光 | | | | |
| 授業方法 | 実習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。 1-DP4 伝統的で高度な「作庭技術」や「快適な生活環境を創造できる技術」を習得していること。 | | | | |

《授業の概要》

二文キャンパスおよび福浜キャンパス内の剪定、植栽等の年間作業を通して、各季節ごとに必要な維持管理を学ぶ。また学外での生産地見学、公園見学等により維持管理の現場と実際に学び、森林での植生調査により植生を学ぶ。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

レポートを添削し2週間以内に返却する。

《授業の到達目標》

本実習は花と緑の緑地環境の維持管理の視点から、緑地の管理技術・技能を実際の作業を通して学ぶ。時間の制約上、植物の生理生態の基礎の実地と栽培管理、庭園を管理するための基本的実技、花を中心とした彩のある空間管理、植物以外の生き物のための空間管理を学ぶことに力点を置く。また総合実習と連携した実習を行うことで効果的に管理の知識と技術を身につけることを目標とする。

《成績評価基準》

受講態度と技術習得の度合いとレポートの作成と提出を総合的に評価する。

《成績評価の方法》

レポート 30%
実技 20%
授業の取組 50%

《参考図書》

厚生労働省職業能力開発局技能振興課監修・全国造園技能検定推進委員会発行『造園施工必携』 花葉会編集・講談社発行『フラワーランドスケピング』

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|-------------|---|
| 1 | オリエンテーション | 予習：各人の地元にある庭園や公園について調べておく(2時間) 復習：安全管理に関する内容を復習する(2時間) |
| 2 | 見学実習 | 予習：見学予定地について下調べをしておく(2時間) 復習：見学した内容のレポート作成(2時間) |
| 3 | しゅる縄・ロープワーク | 予習：身近なロープワークの実例をみておく(2時間) 復習：授業で学んだ内容のレポート作成(2時間) |
| 4 | 花壇準備 | 予習：雑草の種名を10種程度調べておく(2時間) 復習：除草した雑草の特徴をまとめる(2時間) |
| 5 | 草花園芸 | 予習：使用する花苗の科名や原産地等の基礎情報を調査(2時間) 復習：使用した花苗の特徴をまとめる(2時間) |
| 6 | 間伐・林内管理 | 予習：植林に使われる樹種を調べておく(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間) |
| 7 | 挿し木・増殖工 | 予習：園芸店で売られているポット苗を観察しておく(2時間) 復習：授業で学んだ内容のレポート作成(2時間) |
| 8 | 剪定・刈込 | 予習：身近な樹木の枝の付き方・樹形を観察しておく(2時間) 復習：授業で学んだ内容のレポート作成(2時間) |
| 9 | 病虫害防除 | 予習：身近な樹木の病徴を観察しておくこと(2時間) 復習：授業で学んだ内容のレポート作成(2時間) |
| 10 | 技能検定 | 予習：課題の仕様書を熟読すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間) |
| 11 | 挿し木の鉢上げ | 予習：園芸店で売られているポット苗を観察しておく(2時間) 復習：授業で学んだ内容のレポート作成(2時間) |
| 12 | 技能検定 | 予習：課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間) |
| 13 | 技能検定 | 予習：課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間) |
| 14 | 技能検定 | 予習：課題図面をよく見て、自分の施工と比較すること(2時間) 復習：授業で学んだ内容の復習(2時間) |
| 15 | 技能検定 | 予習：最も苦手な工種を把握し、練習する(2時間) 復習：授業で学んだ内容のレポート作成(2時間) |

《専門科目》

| | | | | | |
|--------------------------|---|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | フラワーデザイン基礎 | | | | |
| 担当者氏名 | 野口 静香、永島 知子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

《授業の概要》

季節・四季を大切に行事、使用花材・資材の必要性を説明しながらたくさん作品を作り植物を好きになる授業です。(花材費別途必要です)

《教科書》

フラワーデザイン入門(資格取得に役立つ)(講談社)、社団法人日本フラワーデザイナー協会

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題作品の講評や解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

植物のもつ本来の美しさを様々な素材を使用し教科書の作品例を模倣したり目でみて触れて工夫する中でフラワーデザインの基礎知識を学習しマスターします。15回作品を作っていく事でそれぞれの個性が生まれ完成度の高いステキな作品に仕上がっていくようになります。

《成績評価基準》

植物、素材の扱い方、教科書の作品例を見て自分なりの工夫、個性、感性、作る姿勢等の総合評価とします。

《成績評価の方法》

実技 40 %
授業の取組 60 %

《参考図書》

なし

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|-----------------------|---|
| 1 | 初めて花に触れる簡単基礎アレンジメント | 予習: シラバスを熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 2 | 資材で仕上げるアレンジメントフラワーケーキ | 予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 3 | 母の日ギフトアレンジメント(造花を使って) | 予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 4 | 母の日ギフトアレンジメント(生花を使って) | 予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 5 | 父の日ギフトアレンジメント | 予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 6 | ブライダルについてブライダルギフト | 予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 7 | ブライダル簡単ブーケ、ブートニア | 予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 8 | ブライダルディスプレイ | 予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 9 | スパイラルの花束 | 予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 10 | パターン違いの花束 | 予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 11 | ドーム型アレンジメント | 予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 12 | サマーギフトアレンジメント | 予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 13 | サマーオブジェ、オーナメント | 予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 14 | 様々なグリーンだけで作る花束 | 予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |
| 15 | ドライフラワーを使ってハーバリウム | 予習: 教科書を熟読しておくこと(2時間) 復習: 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間) |

《専門科目》

| | | | | | |
|--------------------------|---|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 学外研修 | | | | |
| 担当者氏名 | 西川 真水 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 | | | | |

《授業の概要》

実際に歴史に名を残す名園、最新技術を活用し形成された都市環境・空間を訪れ、実際にその空間をデザイン、施工、管理するプロフェッショナルの話を聞き、実際の空間を感じ、空間の見方・作法の習得、自らのキャリアにフィードバックすることを目的に宿泊を含む学外での研修を行う。多くの空間を見学・記録し、今後の造園・ランドスケープ空間の計画・設計・施工・管理にかかわる資料の作成も行う。

《授業の到達目標》

研修計画を立案する。
 実際に研修で訪れる、都市や造園・ランドスケープの空間について、事前に調べ、資料を準備する。
 研修計画に基づいて実際に空間を訪れ、本物の空間を感じ、記録する。
 計画、資料、研修の記録をもとに報告ポスター（A1サイズ）を制作する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
 課題 % 実技 %
 授業の取組 30 % その他（ ） 70 %

《教科書》

プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

研修計画はミーティングごとにチェックし、講評を行う。
 提出された報告ポスターは、一次提出時に問題点などコメントをつけて返却するので、それを参考に最終提出とする。最終提出されたポスターは出力し学びの発表会で展示し講評を行う。

《成績評価基準》

研修への取り組み・参加態度（30%）、事前研修で作成する研修計画、および研修後に製作する報告ポスターを評価（70%）を基準に、到達目標の達成度を総合的に評価する。

《参考図書》

進士五十八ノ日本庭園造景の技とこころノ中公新書

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|------------------|--|
| 1 | ガイダンス | 予習：造園史のノート熟読し、振り返っておく 復習：ノートを整理しておく |
| 2 | テーマの設定と研修計画作成 | 予習：班メンバーと京都の町並みについて調べておく 復習：研修計画書の修正 |
| 3 | 研修計画の作成 | 予習：班メンバーとテーマに沿った庭園を調べておく 復習：研修先の資料の収集 |
| 4 | 直前研修1：概要・総論 | 予習：造園史のノート熟読し、振り返っておく 復習：ノート・メモの整理 |
| 5 | 直前研修2：各論 | 予習：配布資料を熟読しておく 復習：ノート・メモの整理 |
| 6 | 直前研修3：各論と研修内容の発表 | 予習：研修資料の作成 復習：資料の収集 |
| 7 | 研修 | 予習：作成した研修資料を熟読しておく 復習：メモ・ノート・写真の整理 |
| 8 | 研修 | 予習：作成した研修資料を熟読しておく 復習：メモ・ノート・写真の整理 |
| 9 | 研修 | 予習：作成した研修資料を熟読しておく 復習：メモ・ノート・写真の整理 |
| 10 | 研修 | 予習：作成した研修資料を熟読しておく 復習：メモ・ノート・写真の整理 |
| 11 | 研修 | 予習：作成した研修資料を熟読しておく 復習：メモ・ノート・写真の整理 |
| 12 | 研修 | 予習：作成した研修資料を熟読しておく 復習：メモ・ノート・写真の整理 |
| 13 | 調査資料の整理・パネル作成 | 予習：レイアウト概要の作成をしておく 復習：レイアウトの指摘点の修正 |
| 14 | 調査資料の整理・パネル作成 | 予習：レイアウト概要の作成をしておく 復習：レイアウトの指摘点の修正 |
| 15 | 報告書の作成 | 予習：レイアウト概要の作成をしておく 復習：レイアウトの指摘点の修正 |

《専門科目》

| | | | | | |
|--------------------------|--|-------|--------|----------|-----------|
| 科目名 | 環境ボランティア演習 | | | | |
| 担当者氏名 | 山本 俊光 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・通年（前期） |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。 | | | | |

《授業の概要》

基本的に時間割授業ではなく、学外授業が多い。土曜日、日曜日、夏休み等に行う。ポイント制に基づく選択授業である。

唐人町商店街活性化を図るワークショップ、自然環境保全の観点から海岸におけるマツの間伐や植林、国体道路花壇整備など地域の問題や活性化に関わっていく授業である。

《授業の到達目標》

- 1 社会職責感を養う。
- 2 ボランティア活動を通して社会性、積極性を養う。
- 3 社会的な課題に敏感になり、社会問題に関心をもつ。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート50%
課題 % 実技 %
授業の取組50%
その他 () %

《教科書》

特になし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

参加ごとにレポートを課す。最後に返却する。

《成績評価基準》

5回以上の参加と5回以上のレポート提出が基準。
参加態度、レポートの内容により評価される。

《参考図書》

『ボランティア時代の水泥のまちづくり』（進士五十八著）
東京農業大学出版会

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|----------------------|---|
| 1 | 総合ガイダンス | ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。 |
| 2 | ボランティア概論 | ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。 |
| 3 | 環境ボランティア概論 | ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。 |
| 4 | 当仁中学校壁面緑化 | ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。 |
| 5 | オープンガーデン | ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。 |
| 6 | 福浜キャンパス整備 1 | ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。 |
| 7 | 二丈キャンパス整備 1 | ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。 |
| 8 | 国体道路花壇整備 1 | ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。 |
| 9 | 国体道路花壇整備 2 | ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。 |
| 10 | 福浜キャンパス整備 2 | ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。 |
| 11 | 二丈キャンパス整備 2 | ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。 |
| 12 | 海の中道海浜公園 マツの管理 | ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。 |
| 13 | 唐人町商店街クリスマス リース作り | ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。 |
| 14 | 庭園見学と管理 | ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。 |
| 15 | 福岡市植物園 ワークショップ | ボランティアやエコツーリズムに関連する書籍を読んでおくこと(1時間)。 今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(1時間)。 |

《専門科目》

| | | | | | |
|--------------------------|--|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | ビオトープ演習 | | | | |
| 担当者氏名 | 岩熊 志保 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って重点的に身につける能力 | 1-DP1 社会人としての教養と豊かな人間性を備え、誠実で責任感が強く、良識をわきまえた言動ができる。 1-DP3 「環境」を学び地域に貢献できる技術を習得していること。 | | | | |

《授業の概要》

資格取得に関わる基礎知識、時事的な環境問題、ビオトープ管理士としての心得などを学びます。資格取得後は、実際に実践できるための知識を身につけます。

《教科書》

改訂版 ビオトープ管理士資格試験公式テキスト
公益財団法人日本生態系協会（監修）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・論文（過去問）
- ・過去問

《授業の到達目標》

「2級ビオトープ計画管理士」試験の合格を目指す。ビオトープに関連した知識を身につけ、実践に活かせることを目標とする。

《成績評価基準》

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %
課題 50% 実技 %
授業の取組 50%
その他 () %

《参考図書》

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|----------------|------------------------|
| 1 | ビオトープとは | 過去問を解く2時間、授業の内容を見直す2時間 |
| 2 | 生態系について | 過去問を解く2時間、授業の内容を見直す2時間 |
| 3 | ビオトープの現状 | 過去問を解く2時間、授業の内容を見直す2時間 |
| 4 | ビオトープの保全について | 過去問を解く2時間、授業の内容を見直す2時間 |
| 5 | 外来種について | 過去問を解く2時間、授業の内容を見直す2時間 |
| 6 | 環境関連法1 | 過去問を解く2時間、授業の内容を見直す2時間 |
| 7 | 環境関連法2 | 過去問を解く2時間、授業の内容を見直す2時間 |
| 8 | 環境関連法3 | 過去問を解く2時間、授業の内容を見直す2時間 |
| 9 | ビオトープ計画 | 過去問を解く2時間、授業の内容を見直す2時間 |
| 10 | 野生生物調査について | 過去問を解く2時間、授業の内容を見直す2時間 |
| 11 | 里地里山里海 | 過去問を解く2時間、授業の内容を見直す2時間 |
| 12 | 国内での取り組み | 過去問を解く2時間、授業の内容を見直す2時間 |
| 13 | 地域における取り組み | 過去問を解く2時間、授業の内容を見直す2時間 |
| 14 | ビオトープ管理士計画部門対策 | 過去問を解く2時間、授業の内容を見直す2時間 |
| 15 | まとめ | 過去問を解く2時間、授業の内容を見直す2時間 |

《基礎科目》

| | | | | | |
|------------------------------|--------|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 茶道文化 | | | | |
| 担当者氏名 | 黒岩 富美枝 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力 | | | | | |

《授業の概要》

1. 茶の湯の歴史
2. 実技 茶室（和室）での基本所作 客の心得 日本茶の種類と淹れ方 点前の基本割稽古とテーブル茶（盆点前） 茶の湯の道具と水屋の仕事
3. 日本の伝統文化について【東洋陶磁美術館見学】

《教科書》

プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

次の授業時間に講評する

《授業の到達目標》

茶の湯は、日本古来より「もてなしの文化」といわれている。一服のお茶を点て、おもてなしの基本が身につくようになる。基本的な所作、手順の繰り返しで、点てられたお茶を感謝していただく 四季の移るいや季節感を、茶室の床の間の軸、花や自分の周りで感ずる 抹茶を楽しみ、自分に対してテーブル茶でお茶を点てて飲むことができる 伝統文化に関する話や実践を通して、茶道に興味・関心を持つことができる

《成績評価基準》

総合評価とする

1. レポートによる内容評価（期限内に提出）
2. 実技の習得度
3. 授業への積極的な取組

《成績評価の方法》

| | | | |
|-------|------|------|------|
| 筆記試験 | % | レポート | 50 % |
| 課題 | % | 実技 | 30 % |
| 授業の取組 | 20 % | その他（ | ） % |

《参考図書》

江戸千家教本「基本の点前」

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|----------------------------|---------------------------------|
| 1 | 利インテ-ジョン 茶の湯とは？ 茶室の成り立ち | 予習：シラバス確認 30分 復習：シラバスを読む 30分 |
| 2 | 茶室の成り立ち お辞儀 と客の心得（つくばい） | 予習：シラバス確認 30分 復習：授業の復習 30分 |
| 3 | 茶室 基本所作「立居、 襖の開閉」・薄茶点前 | 予習：基本所作 30分 復習：授業の復習 30分 |
| 4 | 茶室 基本所作 服紗、 扇子の扱い方 | 予習：つくばいの使い方30分 復習：授業の復習 30分 |
| 5 | 客の心得 席入り 菓子 と薄茶のいだたき方 | 予習：服紗の扱い 30分 復習：授業の復習 30分 |
| 6 | 日本茶の種類と淹れ方 | 予習：プリント確認 30分 復習：レポート作成 |
| 7 | 茶の湯の道具と水屋の成 立ち、水屋の仕事 | 予習：服紗の扱い 30分 復習：授業の復習 30分 |
| 8 | 割稽古（基本） 服紗の 扱い（服紗さばき） | 予習：服紗の扱い 30分 復習：服紗さばき 30分 |
| 9 | 割稽古（基本） 薄茶器 ・茶杓を拭く | 予習：服紗さばき 30分 復習：服紗さばき 30分 |
| 10 | 割稽古（基本） 茶巾の 扱い 茶筌通し、すすぎ | 予習：服紗さばき 30分 復習：茶巾のたたみ方 30分 |
| 11 | テーブル茶（盆点前）の 点前 茶碗の拭き方 | 予習：服紗さばき 30分 復習：茶巾の扱い 30分 |
| 12 | テーブル茶（盆点前）の 点前 亭主と客 | 予習：服紗さばき 30分 復習：授業の復習 30分 |
| 13 | テーブル茶（盆点前）の 点前 亭主と客 | 予習：服紗さばき 30分 復習：授業の復習 30分 |
| 14 | 福岡東洋陶磁美術館見学 | 予習：プリント確認 30分 復習：レポート作成 |
| 15 | テーブル茶（盆点前）の 点前 亭主と客の役割 | 予習：服紗さばき 30分 復習：授業の復習 30分 |

《専門科目》

| | | | | | |
|------------------------------|-------|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 検定読解 | | | | |
| 担当者氏名 | 高向 有理 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力 | | | | | |

《授業の概要》

日本語能力試験N2レベルを目標とした読解力を上げるための練習をします。目標はN2合格ですが、その練習を通して日本での生活に必要な文章を読む力を身につけます。授業は課題の開設を中心に行います。必ず課題を解いて全授業に出席してください。読解力向上のポイントは自宅学習です。自己管理能力を身につけましょう。

《授業の到達目標》

- ・学校や生活に必要な説明文や指示文を読んで内容を理解することができる。
- ・かんたんな内容の評論やエッセイを読んで、因果関係や筆者の考え方が理解できる。
- ・かんたんな内容の複数のテキストを読み比べて、共通点や相違点を述べるができる。
- ・文章から必要な情報を探し出すことができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %
 課題 30% 実技 %
 授業の取組 20%
 その他 () %

《教科書》

日本語能力試験問題集N2読解スピードマスター
 (Jリサーチ出版)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題の解説は次回の授業内で行う。
 理解度確かめるために、小テストを実施し添削して返却する。

《成績評価基準》

- ・毎回課題にしっかり取り組んで授業にのぞんでいたか。
 - ・授業で学んだ語彙や文法とまとめノートを作るなど自宅学習が十分になされていたか。
 - ・文章を理解するためのストラテジーを身につけることができたか。
- 以上の取り組み方と模試・期末試験で総合的に評価する。

《参考図書》

日本語能力試験N2関連問題集を適宜紹介します。

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|------------------|--|
| 1 | 実力テスト 身の回りの文書 | 予習：授業内容の確認 30分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分 |
| 2 | 通知文・お知らせ | 予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分 |
| 3 | 意見文 | 予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分 |
| 4 | 説明文 | 予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分 |
| 5 | エッセイ | 予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分 |
| 6 | 小説 | 予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分 |
| 7 | 新聞 | 予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分 |
| 8 | グラフと図表 | 予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分 |
| 9 | 論説文 | 予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分 |
| 10 | 統合問題 | 予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分 |
| 11 | 模擬試験 | 予習：模擬試験準備 60分 復習：模擬試験の見直し 60分 |
| 12 | 模擬試験の解説 情報検索 | 予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分 |
| 13 | 過去問題 | 予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分 |
| 14 | 過去問題 | 予習：課題読解 60分 復習：授業内で学習した語彙・文法 60分 |
| 15 | 期末試験 まとめ | 予習：期末試験準備 60分 復習：まとめ |

《専門科目》

| | | | | | |
|------------------------------|-------|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 検定文法 | | | | |
| 担当者氏名 | 入江 千治 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力 | | | | | |

《授業の概要》

- 1.N2レベルの文法を理解し、くり返し使い方を練習する。
- 2.N2レベルの文法を使って、文章を書く練習をする。

《教科書》

『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・テキストの各ユニット終了後、小テストを行い、翌週フィードバックを行う。
- ・毎週、宿題を提出し、翌週返却、フィードバックを行う。

《授業の到達目標》

- 1.日本語能力試験N2合格に向け、文法力の向上を目指す。
- 2.テキストで学んだ文法をよく理解し、日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。
- 3.テキストで学んだN2文法を使用し、文章が書ける。

《成績評価基準》

- ・N2文法をよく理解し、文法力が向上できたか。
- ・日本語能力試験の問題において、正しい答えが導き出せるようになったか。
- ・N2文法を使用し、文章が書けるようになったか。

《成績評価の方法》

- ・期末試験50%
- ・小テスト・課題30%
- ・授業への取り組み20%

《参考図書》

パワードリル文法N2

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|-------------------------|--|
| 1 | 授業についての説明 N2文法 導入・練習 | 予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：第1回授業内容の復習(30分) |
| 2 | N2文法 導入・練習 | 予習：第2回授業内容の予習(30分) 復習：第2回授業内容の復習(30分) |
| 3 | 小テスト N2文法 導入・練習 | 予習：第3回授業内容の予習(30分) 復習：第3回授業内容の復習(30分) |
| 4 | N2文法 導入・練習 | 予習：第4回授業内容の予習(30分) 復習：第4回授業内容の復習(30分) |
| 5 | N2文法 導入・練習 | 予習：第5回授業内容の予習(30分) 復習：第5回授業内容の復習(30分) |
| 6 | 小テスト N2文法 導入・練習 | 予習：第6回授業内容の予習(30分) 復習：第6回授業内容の復習(30分) |
| 7 | N2文法 導入・練習 | 予習：第7回授業内容の予習(30分) 復習：第7回授業内容の復習(30分) |
| 8 | N2文法 導入・練習 | 予習：第8回授業内容の予習(30分) 復習：第8回授業内容の復習(30分) |
| 9 | 小テスト N2文法 導入・練習 | 予習：第9回授業内容の予習(30分) 復習：第9回授業内容の復習(30分) |
| 10 | N2文法 導入・練習 | 予習：第10回授業内容の予習(30分) 復習：第10回授業内容の復習(30分) |
| 11 | N2文法 導入・練習 | 予習：第11回授業内容の予習(30分) 復習：第11回授業内容の復習(30分) |
| 12 | 小テスト N2文法 導入・練習 | 予習：第12回授業内容の予習(30分) 復習：第12回授業内容の復習(30分) |
| 13 | N2文法 導入・練習 | 予習：第13回授業内容の予習(30分) 復習：第13回授業内容の復習(30分) |
| 14 | N2文法 導入・練習 | 予習：第14回授業内容の予習(30分) 復習：第14回授業内容の復習(30分) |
| 15 | 総復習 総まとめ | 予習：第15回授業内容の予習(30分) 復習：第15回授業内容の復習(30分) |

《専門科目》

| | | | | | |
|------------------------------|--------|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 検定文字語彙 | | | | |
| 担当者氏名 | 高向 有理 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力 | | | | | |

《授業の概要》

N3からN2レベルの教科書に沿って授業を進めます。3000～6000語を習得するためには自宅学習が必須です。予習・復習に時間をかけ、授業では語彙の運用と確認と応用小テストの繰り返しで力をつけていきましょう。語彙力は日本語力向上の第一歩です。

《教科書》

新完全マスター語彙 日本語能力試験N2
(スリーエーネットワーク)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テスト、模擬試験は翌週にフィードバックします。

《授業の到達目標》

- ・日本語能力試験N3～N2レベルの漢字を読むことができる。
- ・N3～N2レベルの語彙の意味を調べ、短い文の中で使うことができる。
- ・名詞・基本動詞などは、自分で調べ、不明な点を教師に質問できる。
- ・日本語能力試験合格を目指し、自主的に取り組むことができる。

《成績評価基準》

- ・日本語能力試験N3～2レベルの漢字が読めるか。
- ・N3～2レベルの語彙の意味を調べ、短い文の中で使えるか。
- ・名詞・基本動詞は自分で調べ、不明な点を教師に質問できるか。
- ・日本語能力試験合格を目指し自主的に取り組めるか。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート %
課題 30% 実技 %
授業の取組 30%
その他(模試) 10%

《参考図書》

日本語能力試験関連問題集

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|---------------------|--|
| 1 | オリエンテーション、実力テスト | 予習:実力テスト準備 1時間 復習:実力テスト復習 30分 |
| 2 | 実力テスト FB、語彙(社会1) | 予習:語彙(社会1) 30分 復習:語彙(社会1) 30分 |
| 3 | 語彙(社会2)・短文作成 | 予習:語彙(社会2) 30分 復習:語彙(社会2) 30分 |
| 4 | 小テスト、語彙(社会3)・短文作成 | 予習:語彙(社会3) 30分 復習:語彙(社会3) 30分 |
| 5 | 語彙(自然)・短文作成 | 予習:語彙(自然) 30分 復習:語彙(自然) 30分 |
| 6 | 小テスト、語彙(和語動詞)、短文作成 | 予習:語彙(和語動詞) 30分 復習:語彙(和語動詞) 30分 |
| 7 | 語彙(漢語動詞)、短文作成 | 予習:語彙(漢語動詞) 30分 復習:語彙(漢語動詞) 30分 |
| 8 | 日本語能力試験模擬試験 | 予習:模試準備 1時間 復習:模試復習 1時間 |
| 9 | 小テスト、語彙(形容詞)、短文作成 | 予習:語彙(形容詞) 30分 復習:語彙(形容詞) 30分 |
| 10 | 語彙(副詞)、短文作成 | 予習:語彙(副詞) 30分 復習:語彙(副詞) 30分 |
| 11 | 小テスト、語彙(オノマトベ)、短文作成 | 予習:語彙(オノマトベ) 30分 復習:語彙(オノマトベ) 30分 |
| 12 | 語彙(漢語)、短文作成 | 予習:語彙(漢語) 30分 復習:語彙(漢語) 30分 |
| 13 | 小テスト、語彙(言い換え類義)短文作成 | 予習:語彙(言い換え類義) 30分 復習:語彙(言い換え類義) 30分 |
| 14 | 語彙(語形成)、短文作成 | 予習:語彙(語形成) 30分 復習:語彙(語形成) 30分 |
| 15 | 期末試験、まとめ | 予習:期末準備 2時間 |

《専門科目》

| | | | | | |
|------------------------------|----------|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | アジア文化交流史 | | | | |
| 担当者氏名 | 永吉 美知子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力 | | | | | |

《授業の概要》

日本との長い文化交流を時系列に紹介する
理解を深めるために 様々な資料やパワーポイントなどを用いる

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テストと課題レポートの提出

《授業の到達目標》

文化交流がもたらされた歴史の必然性を理解する
過去の歴史が現代に影響し 未来を形づくることを意識化させる

《成績評価基準》

授業中の態度 小テスト 評価テスト

《成績評価の方法》

筆記試験70 % レポート %
課題 % 実技 %
授業の取組30 %
その他 () %

《参考図書》

なし

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) | |
|----|------------------------|-------------------|--------------------------------|
| 1 | オリエンテーション 農業革命 | 復習 | 縄文と弥生時代(2時間) |
| 2 | 古墳時代 | 予習 復習 | 奈良へのながれ(2時間) 弥生までの流れ(2時間) |
| 3 | 飛鳥から奈良時代 遣隋使 遣唐使 | 予習 復習 | 平安時代(2時間) 中国との往来がかえたもの(2時間) |
| 4 | 奈良時代 仏教文化 | 予習 復習 | 平安時代(2時間) 奈良時代を終わらせたもの(2時間) |
| 5 | 平安時代 国風文化 | 予習 復習 | 鎌倉時代(2時間) 平安時代の貴族の政治(2時間) |
| 6 | 鎌倉時代 武士と元寇 | 予習 復習 | 室町時代(2時間) 武士が変えた社会 元寇の影響 |
| 7 | 室町時代 文化 | 予習 復習 | 安土桃山(2時間) 室町文化(2時間) |
| 8 | 安土桃山 鉄砲伝来 | 予習 復習 | 江戸時代(2時間) なぜ鉄砲は日本へきたかの(2時間) |
| 9 | 江戸時代 鎖国と江戸文化 | 予習 復習 | 明治(2時間) なぜ鎖国をしたのか(2時間) |
| 10 | 江戸時代 明治維新 黒船が日本へ | 予習 復習 | 大正時代(2時間) なぜ黒船は日本へ(2時間) |
| 11 | 明治時代 大正時代 条約改正 世界大戦 | 予習 復習 | 昭和時代(2時間) 大正時代(2時間) |
| 12 | 昭和時代 敗戦まで | 予習 復習 | 敗戦後の日本(2時間) 原爆投下までの道(2時間) |
| 13 | 敗戦から現代まで | 復習 | 全体の流れを把握する(4時間) |
| 14 | 評価テスト対策 | 復習 | 対策テストの理解 (4時間) |
| 15 | 評価テスト | 自宅で復習 | |

《専門科目》

| | | | | | |
|------------------------------|---------------|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | ビジネスコミュニケーション | | | | |
| 担当者氏名 | 井上 しづ恵、高藤 純子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力 | | | | | |

《授業の概要》

社会に出る前に常識として知っておかなければならない時事用語やビジネス用語がある。先ずそういった常識を学び、知識を得た上で、新聞記事やビジネス文書を読めるようにする。更に、表やグラフなどを分析し、問題をあぶり出し、問題解決につながる糸口を提起できる力を身に付ける。

《教科書》

ビジネス能力検定ジョブパス

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回演習問題を解き、授業内で解説する

《授業の到達目標》

- ・インターシップ前におさえておきたいビジネス知識やビジネスマナーを理解することができる。
- ・仕事に役立つ論理力を養うことができる。
- ・時事用語やビジネス用語を理解することができる。
- ・表やグラフを見て、問題発見や分析ができる。
- ・ビジネス能力検定3級に合格するする実力を身に付けることができる

《成績評価基準》

授業での演習を通して、ビジネス能力検定3級レベルの知識、思考力、分析力を身につけることができたかを評価する

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート %
課題 % 実技 %
授業の取組 60%
その他 () %

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|----------------------|--|
| 1 | キャリアと仕事へのアプローチ | 予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する |
| 2 | 仕事の基本となる8つの意識 | 予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する |
| 3 | コミュニケーションとビジネスマナーの基本 | 予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する |
| 4 | 指示の受け方と報告、連絡・相談 | 予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する |
| 5 | 話し方と聞き方のポイント | 予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する |
| 6 | 来客応対と訪問の基本マナー | 予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する |
| 7 | 会社関係でのつき合い | 予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する |
| 8 | 仕事への取り組み方 | 予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する |
| 9 | ビジネス文書の基本 | 予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する |
| 10 | 電話応対 | 予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する |
| 11 | 統計・データの読み方・まとめ方 | 予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する |
| 12 | 情報収集とメディアの活用 | 予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する |
| 13 | 会社を取り巻く環境と経済の基本 | 予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する |
| 14 | ビジネス用語の基本 | 予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する |
| 15 | 知識・読解・分析などの総括 | 予習は必要なし。授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する |

《専門科目》

| | | | | | |
|------------------------------|--------------|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | ビジネスライティング | | | | |
| 担当者氏名 | 志田 華奈子、高藤 純子 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力 | | | | | |

《授業の概要》

自らの意見や立場を言葉で明確に表明することは社会人として必要なスキルである。日本語は書き言葉や話し言葉、場面などで、さまざまな使い分けが必要な言語である一方、新しい表現を生み出しやすい言葉でもある。この授業では、さまざまな資料から多くの日本語表現に触れつつ、自らも文章を書き、他者への伝わり方を議論することで、コミュニケーションの道具としてのことばを活用できるスキルを磨く。

《授業の到達目標》

- ・社会に出るにあたって必要な文章力や表現力を磨き、場面に応じた日本語表現を使用することができる。
- ・自らの意見や表現したいことを、他者がわかりやすいように言葉に表すことができる。
- ・語彙力や表現力を伸ばすために、普段から身の回りにおけることばの表現に関心を持ち、調べ、それらを使用できようになる。

《成績評価の方法》

筆記試験 40%
課題 30%
授業の取組 30%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却する

《成績評価基準》

- ・社会に出るにあたって必要な文章力や表現力を磨き、場面に応じた日本語表現を使用することができたか。
- ・自らの意見や表現したいことを、他者がわかりやすいように言葉に表すことができたか。
- ・語彙力や表現力を伸ばすために、身の回りのことばの表現に関心を持ち調べ、それらを使用できようになったか。

《参考図書》

『大学生のための日本語表現トレーニング』橋本修(三省堂)
『形容詞を使わない大人の文章表現力』石黒圭(日本実業出版社)

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|-----------------|---|
| 1 | オリエンテーション | 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分) |
| 2 | 話し言葉と書き言葉 | 予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分) |
| 3 | 描写 (見たものを描写する) | 予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分) |
| 4 | 描写 (絵や動画を描写する) | 予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分) |
| 5 | 形容詞問題 | 予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分) |
| 6 | 外面と感覚の表現 | 予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分) |
| 7 | 伝え方のコツ (依頼) | 予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分) |
| 8 | 伝え方のコツ (効果的な表現) | 予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分) |
| 9 | SDS法・文章のコツ | 予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分) |
| 10 | 敬語表現 | 予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分) |
| 11 | メールの書き方 | 予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分) |
| 12 | ビジネス文書 | 予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分) |
| 13 | 自己PR文 (自己分析) | 予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分) |
| 14 | 自己PR文 (文作成) | 予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分) |
| 15 | 期末試験 まとめ | 予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分) |

《専門科目》

| | | | | | |
|------------------------------|--------------|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 実践的プログラミング演習 | | | | |
| 担当者氏名 | 柿山 達哉、常岡 直樹 | | | | |
| 授業方法 | 演習 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| ディプロマポリシーに沿って 重点的に身につける能力 | | | | | |

《授業の概要》

Excelの一般的な利用方法の解説と実習。
マクロ・VBAの概要の解説と実習。
マクロを使ってプログラムを作成する。
作成したプログラムのプレゼンテーションをおこなう。

《教科書》

今すぐ使えるかんたんエクセル2019
井上香緒里著
技術評論社

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

個人ごとに課題に対する評価レポートを提示し、説明する。

《授業の到達目標》

マイクロソフトExcelの基本的な関数機能を使用することができる。
簡単なExcelマクロ機能のプログラミングからテストができるようになる。

《成績評価基準》

- ・授業に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・出席率、予習、復習を重視します。

《成績評価の方法》

課題 60%
授業の取組 40%

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

| 週 | 授業のテーマ | 予習内容(時間)・復習内容(時間) |
|----|--------------------------|---|
| 1 | 講座の目標と2年間の講義内容説明 | 予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分) |
| 2 | パソコン活用術 | 予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分) |
| 3 | パソコン活用術 | 予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分) |
| 4 | エクセルの基本操作 | 予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分) |
| 5 | エクセルの計算式と関数 | 予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分) |
| 6 | エクセルでよく使う関数の解説と実習 | 予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分) |
| 7 | エクセルでよく使う関数の解説と実習 | 予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分) |
| 8 | エクセル計算式と関数の実習 | 予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分) |
| 9 | エクセル計算式と関数の実習 | 予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分) |
| 10 | マクロ・VBAとは VBAで何ができるのか | 予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分) |
| 11 | 簡単なマクロコーディング・開発画面の使い方 | 予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分) |
| 12 | 簡単なマクロコーディング・VBAの基礎知識 | 予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分) |
| 13 | 簡単なマクロコーディング・VBAの基礎知識 | 予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分) |
| 14 | 簡単なマクロコーディング・実習 | 予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分) |
| 15 | 簡単なマクロコーディング・実習 | 予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分) |